

# きょうりつ 便り

健康ひと言アドバイス  
認知症に対する正しい知識  
Voice あなたの声を生かし隊  
窓や外壁の清掃

お仕事カルテ  
手術センター  
ご近所ドクター  
マキツボ整形外科クリニック

Vol.27 2018.12.  
December  
http://www.hiroshimairyō.or.jp



## メディカル最前線

# 流行の兆しを見せる風疹

総合診療科医師 吉國 晋



## 風疹の症状は

風疹は、発熱、発疹、耳の後ろや後頭部のリンパ節が腫れる症状が特徴のウイルス性発疹症です。咳などから感染して、2～3週間の潜伏期間の後に発症します。

風疹は「三日ばしか」とも言われ小児は3日程度で治ることが多いですが、成人では手指のこわばりや痛みを訴えることも多く、脳炎などの合併症を発症することもあります。風疹には有効な薬はなく、風疹ワクチンを接種して予防することが大切です。

## 流行している要因は？

現在、首都圏や近畿地方を中心に風疹が流行していますが、患者の70%以上は男性で、男性の内、20代から40代が80%を占めています。このような現象が起こる原因として、日本の予防接種の制度が影響しています。39歳6カ月以上の男性（2018年10月1日時点）は今まで風疹ワクチン接種の機会がなく風疹に対する免疫がないため、風疹にかかりやすい状態だからです。

## なぜ予防が大事なのか

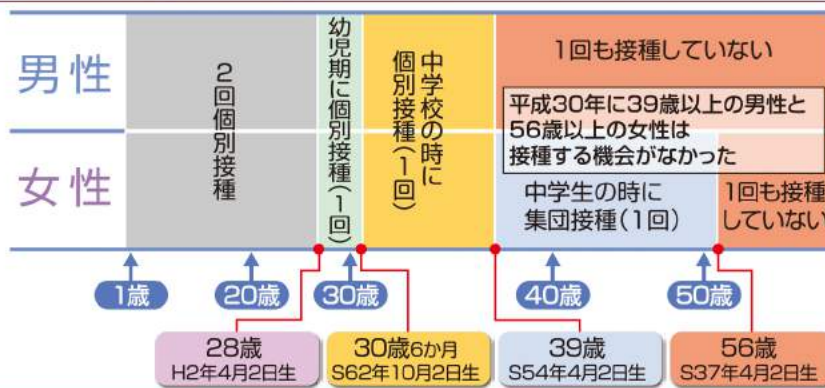


妊娠中の女性が初期（妊娠20週まで）に風疹に罹ると、お腹の赤ちゃんが風疹ウイルスに感染して、難聴や先天性心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れなどを合併する「先天性風疹症候群」を発症する危険があります。

今までに風疹にかかったことがなく風疹ワクチンを受けたことがない人は、自分はもちろん、周囲の妊婦や赤ちゃんを守るためにも、麻疹風疹混合（MR）ワクチンの予防接種を受けましょう。当院では、予約によりMRワクチン接種を受けることができます。ただし女性においてはMRワクチン接種後、2か月間は避妊が必要です。

広島市では、妊娠を希望する女性やその同居者、妊婦の同居者は無料で風疹抗体検査（血液検査）を受けられます（上記対象者でない方も有料で抗体検査を受けることは可能）。

年代別でみる風しんの  
予防接種制度の変遷  
年齢は平成30年4月1日現在



1回も接種していない  
1回も接種していない

ご心配な方は風疹の抗体があるかどうか調べることをお勧めします。

# 手術センター(2階)

広島共立病院の業務紹介をする「お仕事カルテ」。

副総看護師長 手術室師長 手術看護認定看護師 林 操が、手術センターについて紹介します。



## より安全に手術を受けていただくために 団結力をもって対応を

手術センターにはバイオクリンルームを含む手術室が4室、心血管撮影室が1室あります。消化器外科、乳腺外科、整形外科、耳鼻科、皮膚科の手術等を主に行っています。

看護師14名、看護補助者1名、滅菌担当5名が在籍し、患者さんの手術が決まった時点から術後、通常の生活が送れるようになるまでの周術期看護を担っています。スタッフは、研修会に自主的に参加するなど、学習意欲の高い集団です。より安全に安心して手術を受けていただけるよう適切な情報を患者さんに提供すべく病室に術前訪問を行うなど、患者さんのためにできることを常に考え、それらを年間目標とし毎年達成し続けています。

団結力があり、何事もみんなで迅速に取り組むことが出来るのが、広島共立病院の手術センターの特色です。

## 妥協を許さず 責任感を胸に取り組む

手術には機器・器具が必要不可欠です。これらの中には、手術室でしか使用しないような器械もたくさんあります。手術室で使用する器械は、例えば、単に汚れを落とすだけでなく、温度・圧力・蒸気の質など厳しい条件をクリアするまで滅菌するなど、安全管理に努めています。

人の人生を左右する命の現場に立つものとして、責任感を持ち、何事も徹底的にミスの無いよう取り組むことを重視しています。

気の抜けない厳しい現場ではありますが、患者さんが元気になられたとき、達成感や充足感を得られ、仕事のやりがいを実感することができます。

手術はチームワークが肝要です。スタッフ全員がレベルアップしていけるよう、しっかりサポートしていきたいと考えています。



専門的な知識を持って、質の高い看護を提供できるよう、手術看護認定看護師資格を取得。当院に在籍している6分野の認定看護師と連携し、しっかりリーダーシップをとっていききたいと考えています。



副総看護師長 手術室師長 手術看護認定看護師 林 操

＼ こんにちは！ ／

## ご近所ドクター

広島共立病院では、地域の開業医ドクターと連携しながら患者さんをサポートしています。

患者さんが少しでも元気に過ごせるようなケアを

## マキツボ整形外科クリニック

院長／榎坪 真奈美 先生

〒731-0103 広島市安佐南区緑井2丁目17-5

TEL.082-876-1114

- 診療科……………整形外科、リハビリテーション科
- 外来受付時間…9:00～13:00、15:00～18:30 (2019年1月より9:00～12:30、14:30～18:00)
- 休診日……………水曜日・土曜日の午後休診(火曜15:00～17:00装具) 日曜日・祝日



### Q. マキツボ整形外科の特徴は？

A. 女性スタッフの多い医院です。お子さんの外傷の治療から、ご年配の慢性腰痛などのリハビリまで、さまざまな症状のお困りごとに耳を傾け、患者さんが明るく元気に過ごせるよう、支えていきたいと考えています。

### Q. 診療時に心がけておられることは？

A. レントゲン、エコーを使用し、早期に痛みの原因を突き止め適切な治療を行うよう心がけています。エコー下治療を学んだり、1月から理学療法士が加わったりと、今後も高度な治療が提供できるよう努めてまいります。

### Q. 広島共立病院との連携は？

A. 手の疾患や外傷は整形外科、内科系の疾患が原因の場合は総合診療科、皮膚疾患は皮膚科と、さまざまな先生にお世話になっております。今後ともよろしく願いいたします。

# 認知症の人とともに歩いていくために私たちができること

2025年には65歳以上の5人に1人が発症するとも言われている認知症。

認知症のことを少しでも理解していただき、認知症の人への適切な接し方をお伝えします。

## 認知症と老化によるもの忘れの違い

認知症によるもの忘れなのか、単なる老化によるもの忘れかよくわからないという方も多いかと思えます。例えば「昨日の夕ご飯、何食べたっけ?」というのは、皆さんも経験することかもしれません。でも認知症の人は「昨日夕ご飯を食べさせてもらえなかった!」と、出来事をまるごと忘れてしまうのです。認知症は一般的には高齢者(65歳以上)に多いですが、65歳未満で発症した場合を「若年性認知症」と言います。今までと違う変化に気がついても「まさか自分が」という思いもあり、なかなか受診に結びつかないことが多いようです。しかし働き盛りの世代が多いですから、経済的なことなど本人はもちろん家族にも負担がかかってくる可能性があります。



アロマセラピー、回想法などいろいろな手段がありますが、認知症の人が持っている能力を引き出せるようなアプローチがいいと思います。しかし一番は認知症の人が安心していられる接し方かと思えます。認知症の人は何もわからない人ではありません。記憶障害があっても、感情は最後まで残るといわれています。「うれしい、楽しい」という感情が湧いてくるような関わりができればと思います。何度も同じことを言われるかもしれませんが、本人の目を見ながら、優しくその都度答えてあげてください。



## 認知症予防にいいことは

認知症は脳が不健康な状態です。糖尿病や高血圧などの生活習慣病に注意し、大量飲酒やタバコなど、認知症になるリスクを減らしていくことが大切です。そして脳の健康を保つために、ウォーキングなどの有酸素運動や、積極的に地域に出かけていき人と接触を持つこと、そして日記を書いたり俳句を詠んだりなど創作活動を習慣づけましょう。でも嫌々やるのではなく楽しんで行うことも重要なポイントだと思えます。

## 認知症の進行を遅らせるには

残念ながら、今の段階では認知症になった場合完治することはできません。進行を遅らせるお薬も出ていますが、それ以外の治療も併せて行う必要があります。芸術療法や

## 不安を感じたら、まずは相談を

当院ではもの忘れについては脳神経内科が窓口となっています。「でも先生に聞くのは少し…」という場合は、もの忘れ看護相談も行っていますので、ご自身のことはもちろん、ご家族のことなどお気軽にご連絡ください。

安佐南区を「認知症になっても生活しやすい地域にする」ことが夢です。皆さんお一人ひとりが地域で生活される認知症の人を支えられるよう、一緒に頑張っていきたいと思えます。

地域連携部 部長

認知症看護認定看護師 久保田 浩子



Voice

## あなたの声をいかし隊

「声の箱」などにお寄せいただいた患者さんのご意見をもとに、改善したことを紹介します。

### 窓や外壁の清掃 ▶ 気持ち良く外の景色を眺められるよう窓の清掃を実施しました。

広島共立病院に入院されている患者さんから「入院中、病室にいと時間を持て余してしまう。そんな中で、外を眺めるのが楽しみの一つになっている」といった声を聞き、窓が汚れては気持ちよく過ごせないのではないかと考え、この度、窓や外壁の清掃を実施いたしました。

徹底的にきれいにするため、外装や

窓の清掃を専門的に行っている業者に依頼。窓の汚れをはじめ、排気口の出口付近も念入りに清掃しました。外壁も美しくなり、通院される患者さんにも気持ちよく通っていただけるようになったのではと考えております。当院では、今後も地域のみなさんの満足につながるよう、一つひとつの声に耳を傾け、改善できるよう努めてまいります。



## 第7回大規模災害訓練を実施しました

9月22日に職員74名が参加して、大規模災害の実施訓練を行いました。これは、南海トラフ地震を想定し、多数の負傷者の受け入れを迅速に行うための訓練です。災害発生後、直ちに災害対策本部を設置。院内の災害状況の把握に努めました。続いて、現地指揮官のもと、トリアージポスト（医師や救急救命士が負傷者の重傷度・緊急度を判断する場所）、赤・黄・緑・黒ポストを設営。職員が患者に扮してトリアージを実施し、治療を行いました。

さらに、転送患者を選定、病院の受け入れ状況をEMIS（広域災害救急医療情報システム）の訓練入力、DMAT（医師・看護師・救急救命士などで構成される災害派遣医療チーム）や医療救護チームの受け入れ、避難者への対応などを盛り込みながら訓練を進めました。

実際に受け入れ現場を想定して動いてみる中で、改善すべき点や課題を確認することができました。

いつ発生するかわからない災害。いざというときに、地域から求められる医療を継続して提供できる病院となるよう、今後も訓練と学習を続けていきます。



## 地域まるごと健康づくり「健康教室」を開催しました

2018年10月27日

### 「心臓の病気と向き合うために」

伊藤 尚志 医師（広島共立病院 循環器内科医長）

テレビの情報番組で取り上げられることは多いのに、実は詳しく知る機会がない高血圧や心筋梗塞について、伊藤先生に「病気と戦うためにはまず疾患を知る」というお考えのもと、熱い講義をいただきました。「耳たぶにさわがないか」講義が終わって皆さんもすぐに鏡で確認していました。



## お知らせ

「健康教室」は当院や地域の医療従事者、「いきいき★健康倶楽部」は当院スタッフが講師となり、地域の皆様の健康づくりをサポートします。事前申し込み不要、どなたでも参加できます。お気軽にお問い合わせください。

## 地域まるごと健康づくり「健康教室」

開催場所／安佐南区総合福祉センター [広島市安佐南区中須1丁目38番13号]

□ 2018年12月22日(土) 14:00～15:30

「知っておきたい薬の基礎知識」

●講 師：エスマイル薬局緑井店 内田 佳那 薬剤師

□ 2019年1月26日(土) 14:00～15:30

「介護予防と栄養(仮)」

●講 師：広島共立病院 管理栄養士 遠藤 由紀子 氏

お問い合わせ先／広島共立病院 地域連携部 ☎082-879-1111(代)

### 理 念

患者の人権を守り、安全・安心で信頼される医療を実践します。

### 基本方針

1. 無差別平等で質の高い医療を提供します。
2. 患者第一を貫き、患者・住民との共同の営みの医療をおこないます。
3. ヘルスプロモーション活動で、患者・職員・地域の健康状態を改善します。
4. 地域での保健・医療・福祉のネットワークづくりを推進します。
5. 職員教育を重視し、いきいきと成長する専門職を育てます。
6. 平和な社会をめざし、社会保障を守り発展させる活動を強めます。



アクセス ●JR可部線大町駅より 徒歩 約5分  
●中須バス停より 徒歩 約3分  
●アストラムライン古市駅より 徒歩 約5分

アストラムライン上安駅・大町駅、フジグラン緑井店前より無料送迎バスを運行  
※赤矢印は午前7時～9時は進入禁止です。



広島医療生活協同組合  
**広島共立病院**  
〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20  
TEL.082-879-1111(代)  
E-mail: kyoritsu@hiroshimairyu.or.jp